

2018年2月期

# 第2四半期 決算説明会資料

2017年10月18日

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE  
IS  
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE  
IS  
POWER.



PAL GROUP HOLDINGS

## 目次

<b>財務報告</b>	2
2018年2月期 第2四半期決算概況	3
2018年2月期 通期業績の見通し	14
<b>経営ビジョン</b>	16
<b>トピックス</b>	19
<b>株主様への対応</b>	27

SMILE  
IS  
POWER.



PAL GROUP HOLDINGS

# 財務報告

2018年2月期 第2四半期決算概況  
2018年2月期 通期業績見通し

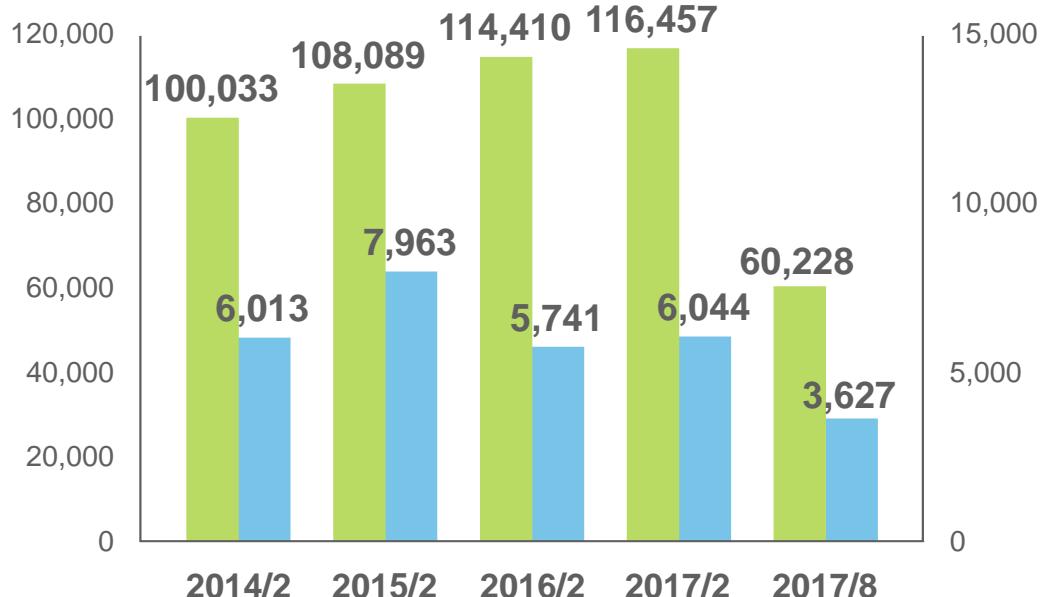
## 上期を振り返って

- 売 上 高：店舗数は12店舗の純減となったものの、低価格ベーシック化への対応、EC販売が前年同期比162.7%と大幅に伸長するなどにより、5.4%の増収となりました。
- 利 益 率：生産プラットフォームの強化、4週間MDの再設計による型数・仕入数量のコントロールと、調達先の絞込みとロットの集約により粗利率が0.7ポイント改善するなどにより前期比141.7%の増益。

## 連結

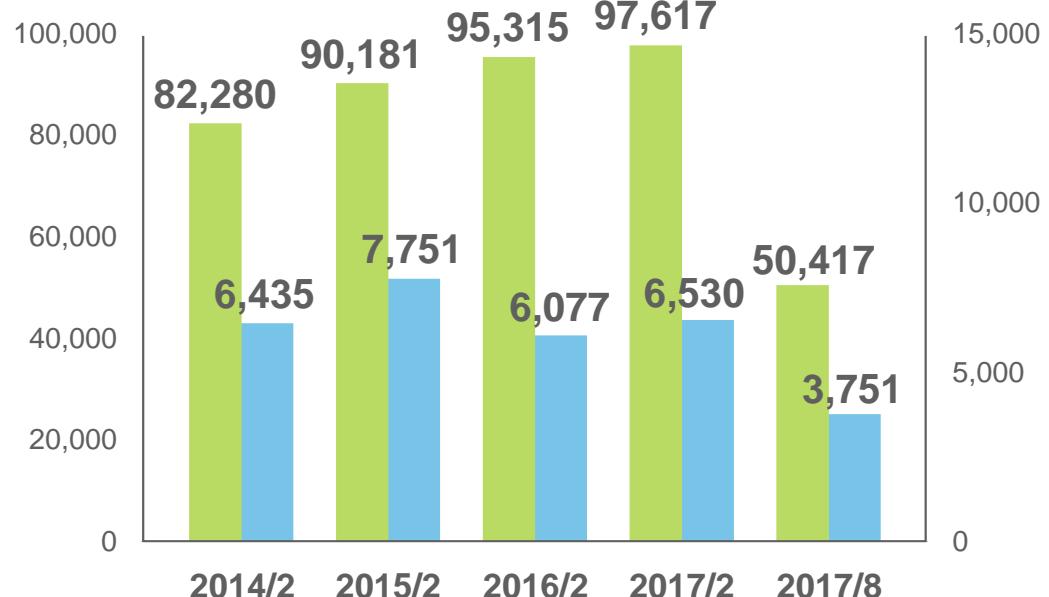
### ■ 売上高 ■ 経常利益

単位:百万円



### (株)パルグループ ホールディングス単体 +<sup>(株)パル</sup> ■ 売上高 ■ 経常利益

単位:百万円



単位:百万円

	2017年2月期 第2四半期	2018年2月期 第2四半期			
		公表値	実績	前年同期比	公表値比
売上高	57,132	60,650	60,228	105.4%	99.3%
売上総利益	32,000	34,370	34,158	106.7%	99.4%
(売上比)	56.0%	56.7%	56.7%	—	—
営業利益	2,617	3,480	3,654	139.6%	105.0%
(売上比)	4.6%	5.7%	6.1%	—	—
経常利益	2,560	3,390	3,627	141.7%	107.0%
(売上比)	4.5%	5.6%	6.0%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,321	1,520	1,959	148.3%	128.9%
(売上比)	2.3%	2.5%	3.3%	—	—

- 前年同期比では増収となるも、店舗数が、昨年度末比12店舗純減となるなどにより、売上は、計画にわずかに届かずとなつた。
- 4週間MDの再設計などにより、在庫コントロールを効かせ、粗利率の改善を図り、店舗数の減少などにより、販管費率が前年同期比0.8ポイント改善するなどにより、利益は計画を上回った。

単位:百万円

	2017年2月期 第2四半期	2018年2月期 第2四半期			
		公表値	実績	前年同期比	公表値比
売上高	48,072	50,940	50,417	104.9%	99.0%
売上総利益	27,167	29,240	29,101	107.1%	99.5%
(売上比)	56.5%	57.4%	57.7%	—	—
営業利益	2,928	3,490	3,764	128.6%	107.9%
(売上比)	6.1%	6.9%	7.5%	—	—
経常利益	2,873	3,410	3,751	130.6%	110.0%
(売上比)	6.0%	6.7%	7.4%	—	—
当期純利益	1,685	1,950	2,224	132.0%	114.1%
(売上比)	3.5%	3.8%	4.4%	—	—

- 売上は、15店舗純減となるも、低価格ベーシック化への対応やEC販売強化等によりほぼ計画ライン。
- 生産プラットフォームによる調達先絞込みとロットの集約による原価率低減と、4週間MDの徹底による在庫コントロール強化により粗利率改善。

単位:百万円

	2016年7月期 実績	2017年8月期 実績	前年比
売上高	4,409	5,410	122.7%
営業利益	60	363	605.0%
経常利益	70	388	554.3%
当期純利益	57	224	393.0%

- 決算期変更(1月→2月)のため、昨年は2月～7月、本年度は3月～8月の数値を用いています。  
また、2017年8月期は昨年同期と基準を同じくするため、営業利益・経常利益には、持株会社宛経営指導料の控除前の数値しております。
- SNSやECを通じたプロモーションが来店誘致にもつながることで増収を果たし、利益も大幅に改善。

# セグメント別販売実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2017年2月期 第2四半期	2018年2月期 第2四半期	前年同期比
衣料			
	売上高	41,192	43,007
	構成比	72.1%	71.4%
	営業利益	1,297	2,221
雑貨	営業利益率	3.1%	5.2%
	売上高	15,867	17,169
	構成比	27.6%	28.5%
その他	営業利益	1,305	1,431
	営業利益率	8.2%	8.3%
	売上高	72	52
			72.2%
	2017年2月期 第2四半期	2018年2月期 第2四半期	前年度比
EC売上高			
	ZOZO TOWN	1,597	3,314
	自社PALCLOSET	597	824
	その他	869	845
	合計	3,063	4,983
	対衣料売上高比率	7.4%	11.6%
			4.2P

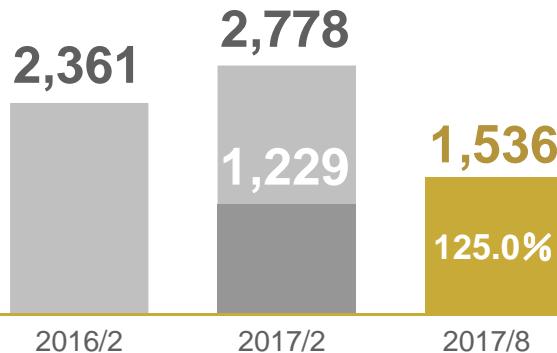
- 低価格ベーシックな戦略商品の投入などにより、衣料の売上回復。在庫コントロール強化による粗利率改善により大幅増益。ECは、ZOZO TOWN主体に引き続き大幅な伸張。年間100億円は射程。

# 主なブランド

PAL GROUP HOLDINGS

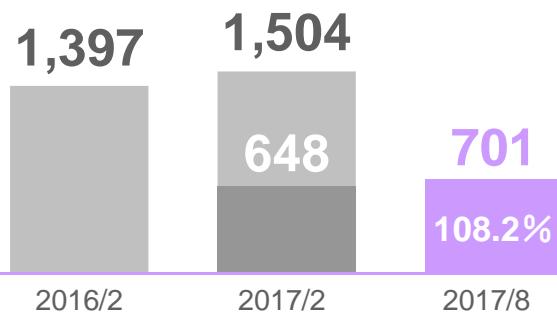
## 売上高

単位:百万円



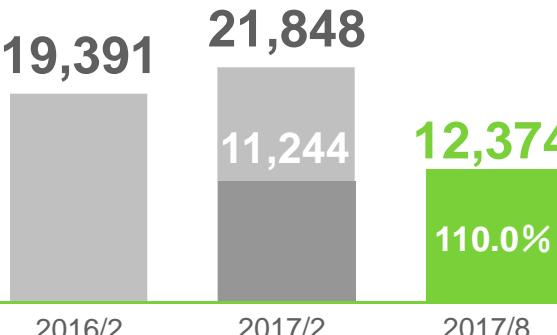
## 売上高

単位:百万円



## 売上高

単位:百万円



## Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、  
世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。  
今の気分をmixしたマイスタイルの発見。

カスタネ

店舗数 18店舗



## Lui's

モテる男のワードローブをテーマに  
モード&ストリートのMIXコーディネートを提案。  
着心地、カッティング、素材感を重視した商品を  
国内外問わず編集し発信していく。

ルイス

店舗数 9店舗



## 3COINS

何度も行きたくなる！いつ行っても発見がある！  
ワクワク・ドキドキがたくさん詰まったHAPPY STORE  
3COINSは、あなたのちょっと“幸せ”をお手伝いする  
雑貨店です。キッチン・バス・インテリア・靴下・  
アクセサリーなどの商品を、ベーシックなものから楽  
しくなるようなカラフルな色使いのものまで、300円  
を中心とした雑貨を幅広く取り揃えています。

3コインズ

店舗数 177店舗



# 販売費及び一般管理費

PAL GROUP HOLDINGS

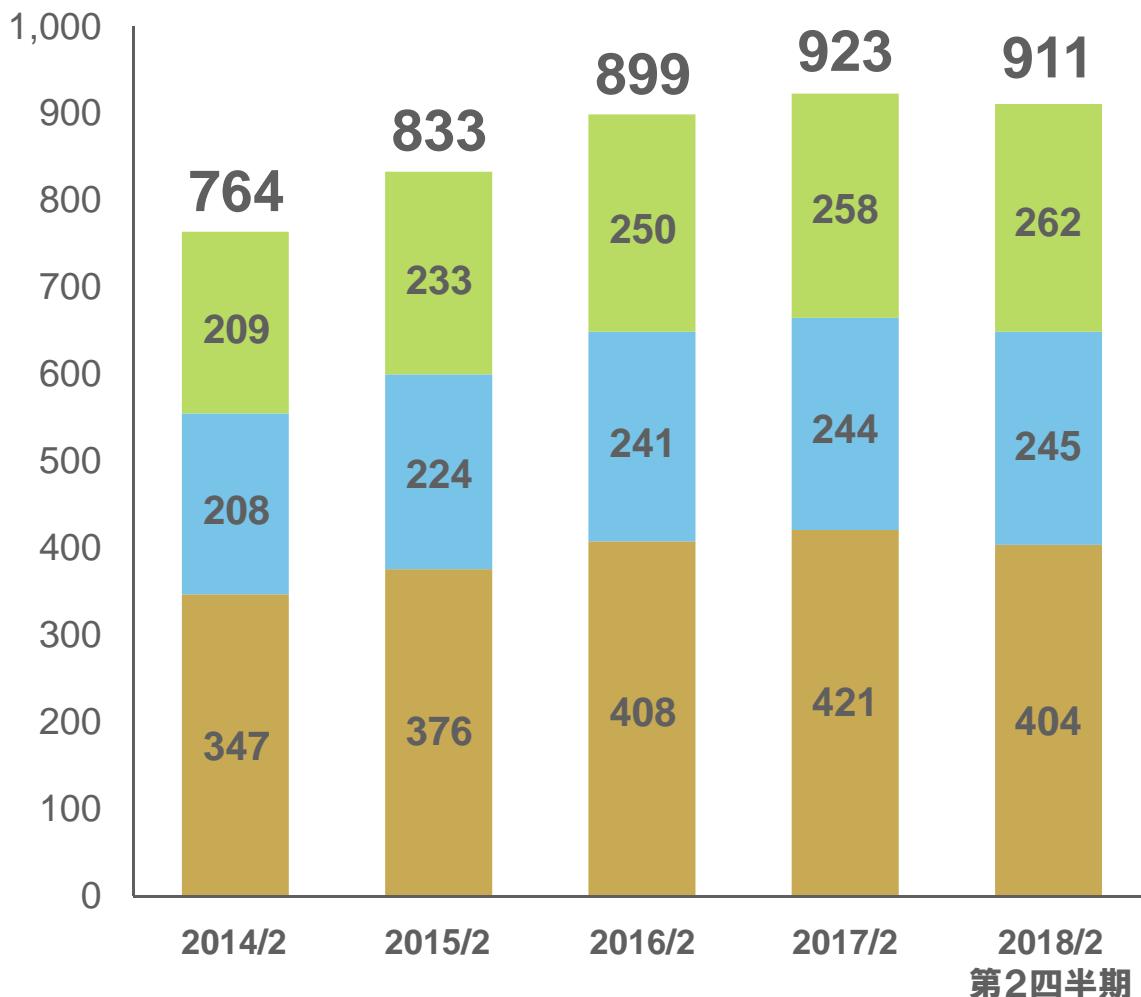
単位:百万円

	2017年2月期 第2四半期	2018年2月期 第2四半期	前年同期比
単体	24,239	25,337	104.5%
連結	29,383	30,503	103.8%
販管費率(連結ベース)	51.4%	50.6%	△0.8P
人件費率	19.5%	19.6%	0.1P
賃料費率	17.4%	16.6%	△0.8P
広告宣伝費率	0.4%	0.3%	△0.1P

- 店舗数の純減と、売上回復によって販管費比率が改善。

## 第2四半期末店舗数911店舗 (前期末比12店舗増)

■ その他地方  
■ 関西圏  
■ 関東圏



### ● 出店状況

出店は厳選し、28店舗。  
退店は、シェトワのブランド廃止に伴う退  
店とあわせ、不採算店舗の撤退を推し進  
め、40店舗となり、昨年度末比12店舗  
の純減。

### ● 各ブランドの出店状況

出店数で目立つブランドではなく、退  
店は、シェトワが3店舗(ほかに4店舗業  
態変換)、ナイスクラップが11店舗など。  
業態変換は、合計8店舗。  
店舗数には、海外(3コインズ上海)1店  
舗を含む。

# 特別損益

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2017年2月期 第2四半期	2018年2月期 第2四半期
固定資産除却損	95	153
減損損失	163	347
特別損失合計	258	501

# 連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2017年2月期	2018年2月期 第2四半期	前期末比増減	備考
<b>流動資産</b>	<b>51,288</b>	<b>51,358</b>	<b>70</b>	
現金及び預金	35,959	34,294	△1,665	
売掛金	5,178	5,923	745	
たな卸資産	8,592	9,464	858	
その他	1,558	1,676	131	
<b>固定資産</b>	<b>25,794</b>	<b>25,281</b>	<b>△513</b>	
有形固定資産	9,903	9,086	△817	
無形固定資産	398	735	337	
投資その他の資産	15,492	15,459	△33	
<b>資産合計</b>	<b>77,083</b>	<b>76,639</b>	<b>△444</b>	
<b>流動負債</b>	<b>27,685</b>	<b>27,385</b>	<b>△300</b>	
固定負債	11,807	11,389	△418	
<b>負債合計</b>	<b>39,492</b>	<b>38,775</b>	<b>△717</b>	
<b>純資産合計</b>	<b>37,590</b>	<b>37,864</b>	<b>274</b>	
<b>負債資本合計</b>	<b>77,083</b>	<b>76,639</b>	<b>△444</b>	

# 連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位：百万円

	2017年2月期 第2四半期	2018年2月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,834	1,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△906	△794
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,551	△2,209
現金及び現金同等物の増加（減少）額	△622	△1,598
現金及び現金同等物の期首残高	35,174	35,959
現金及び現金同等物の期末残高	34,552	34,294

- 連結子会社のうち、決算日が12月31日であった(株)クレセントスタッフ、1月31日であった(株)ナイスクラップ及び(株)マグスタイルについては、決算日を2月末日に変更したため、現金及び現金同等物の期首残高で調整し連結しています。

# 2018年2月期 連結・(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル 通期業績の見通し

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

## 1. 連結

	2017年2月期	2018年上期	2018年下期	2018年2月期	前期比
売上高	116,457	60,228	63,646	123,880	106.4%
売上総利益	65,303	34,158	36,522	70,680	108.2%
販売管理費	59,139	30,503	32,157	62,660	106.0%
営業利益	6,164	3,654	4,366	8,020	130.1%
経常利益	6,044	3,627	4,223	7,850	129.9%
特別損益	△823	△501	△449	△950	—
親会社株主に帰属する当期純利益	3,071	1,959	2,101	4,060	132.2%
粗利率	56.1%	56.7%	57.4%	57.1%	

## 2. (株)パルグループホールディングス単体

+ (株)パル	2017年2月期	2018年上期	2018年下期	2018年2月期	前期比
売上高	97,617	50,417	53,763	104,180	106.7%
売上総利益	55,464	29,101	30,754	59,855	107.9%
販売管理費	48,802	25,337	26,648	51,985	106.5%
営業利益	6,661	3,764	4,106	7,870	118.2%
経常利益	6,530	3,751	3,959	7,710	118.1%
特別損益	△694	△425	△175	△600	—
当期純利益	3,780	2,224	2,256	4,480	118.5%
粗利率	56.8%	57.7%	57.2%	57.5%	

● 通期予想は据え置き

# 2018年2月期 通期業績見通しの前提

PAL GROUP HOLDINGS

## ■ 1. 店舗数の状況

	2017年2月期	2018年8月末	( )内、現時点の確定数 2018年2月期 期末予想
新規店舗数	65	28	72(72)
事業譲受による増加店舗数			※
退店店舗数	41	40	66(66)
店舗数純増	24	△12	6(6)
会計年度末の店舗数	923	911	929(929)

※OLIVE des OLIVE事業譲受による店舗数は未確定

## ■ 2. 既存店売上の状況

(パルグループ各社の合計)

	2017年2月期	2018年2月期 上期累計実績	2018年2月期 下期累計見通し	2018年2月期
既存店売上推移	94.7	103.2	102.0	103.0
うち小売既存店売上高	93.0	100.0	100.0	100.0
うちネット通販既存店売上高	126.9	157.0	150.0	137.0
	2017年3月	4月	5月	6月
既存店売上推移	100.5	106.0	101.5	105.0
うち小売既存店売上高	98.1	103.6	99.2	100.4
うちネット通販既存店売上高	142.9	148.3	140.0	175.6
	7月	8月		
既存店売上推移	103.1	103.7		
うち小売既存店売上高	98.7	100.4		
うちネット通販既存店売上高	171.6	158.6		

## ■ 3. 全店売上の状況

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期計
全店売上	103.9	106.2	103.7	107.7	104.0	104.1	105.4
うちEC	155.1	156.5	148.5	178.9	175.8	158.0	162.7

## ■ 4. 客数、客単価の推移

	客単価前年度比(第二四半期累計)	客数前年度比(第二四半期累計)
衣料事業	96.4%	102.6%
雑貨事業	100.1%	101.4%
全体	97.0%	101.6%

SMILE  
IS  
POWER.



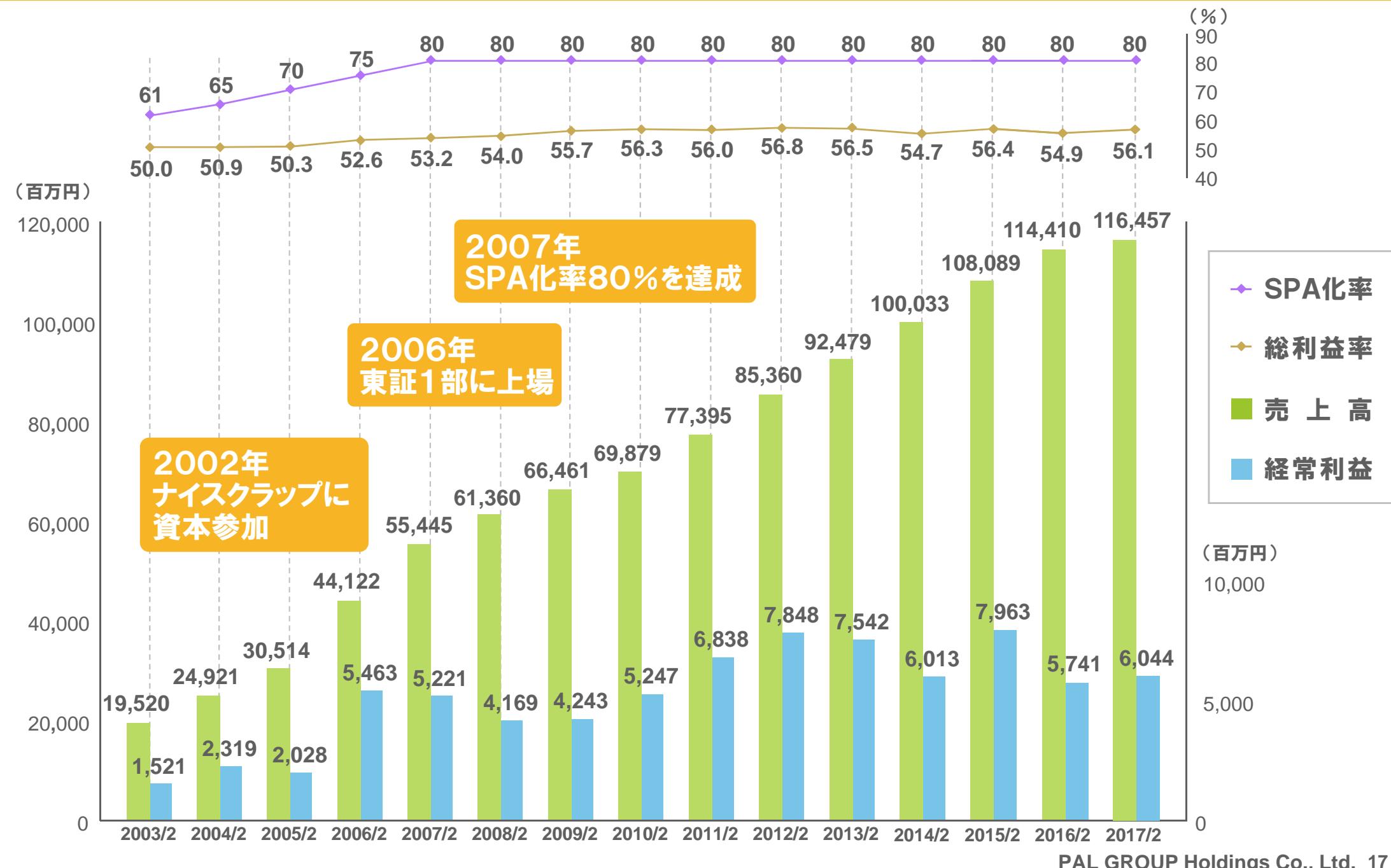
PAL GROUP HOLDINGS

# 経営ビジョン

業績推移  
中長期ビジョン

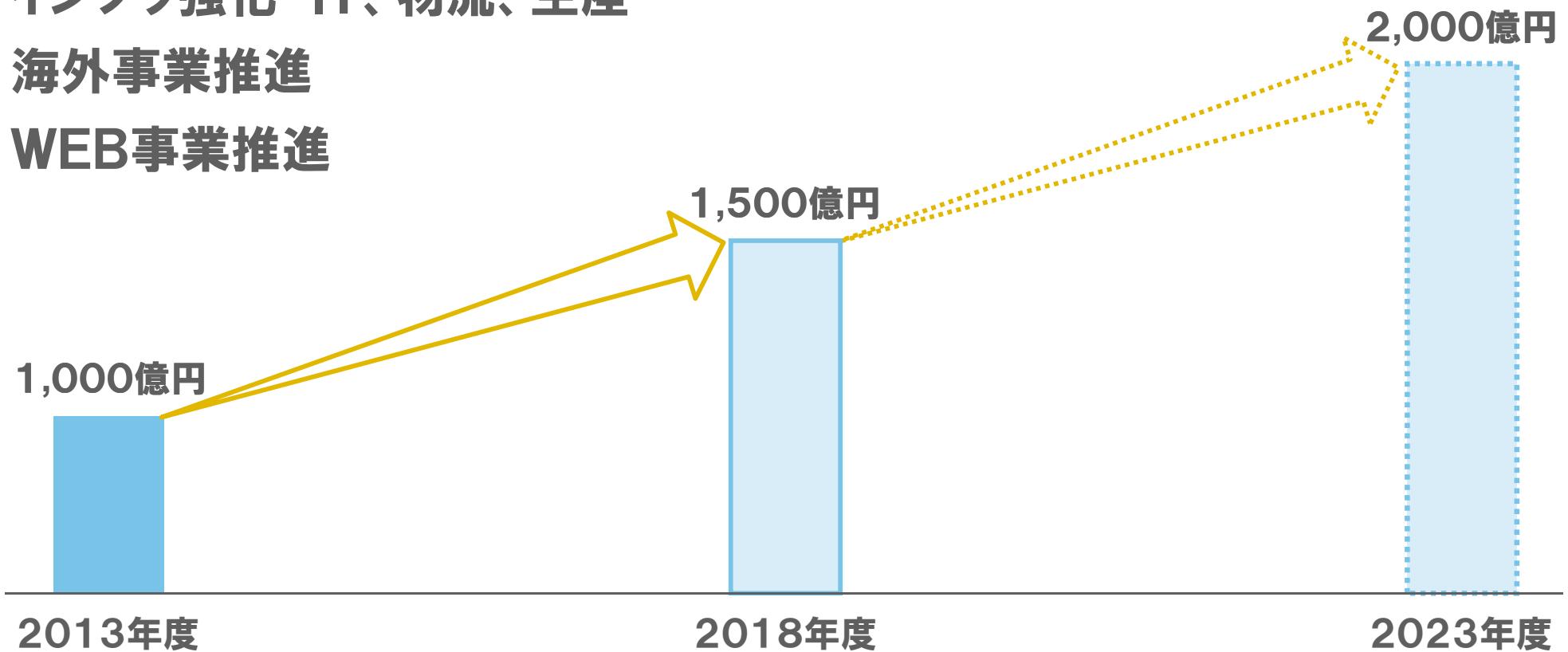
# 業績推移

PAL GROUP HOLDINGS



## 事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- インフラ強化 IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



SMILE  
IS  
POWER.



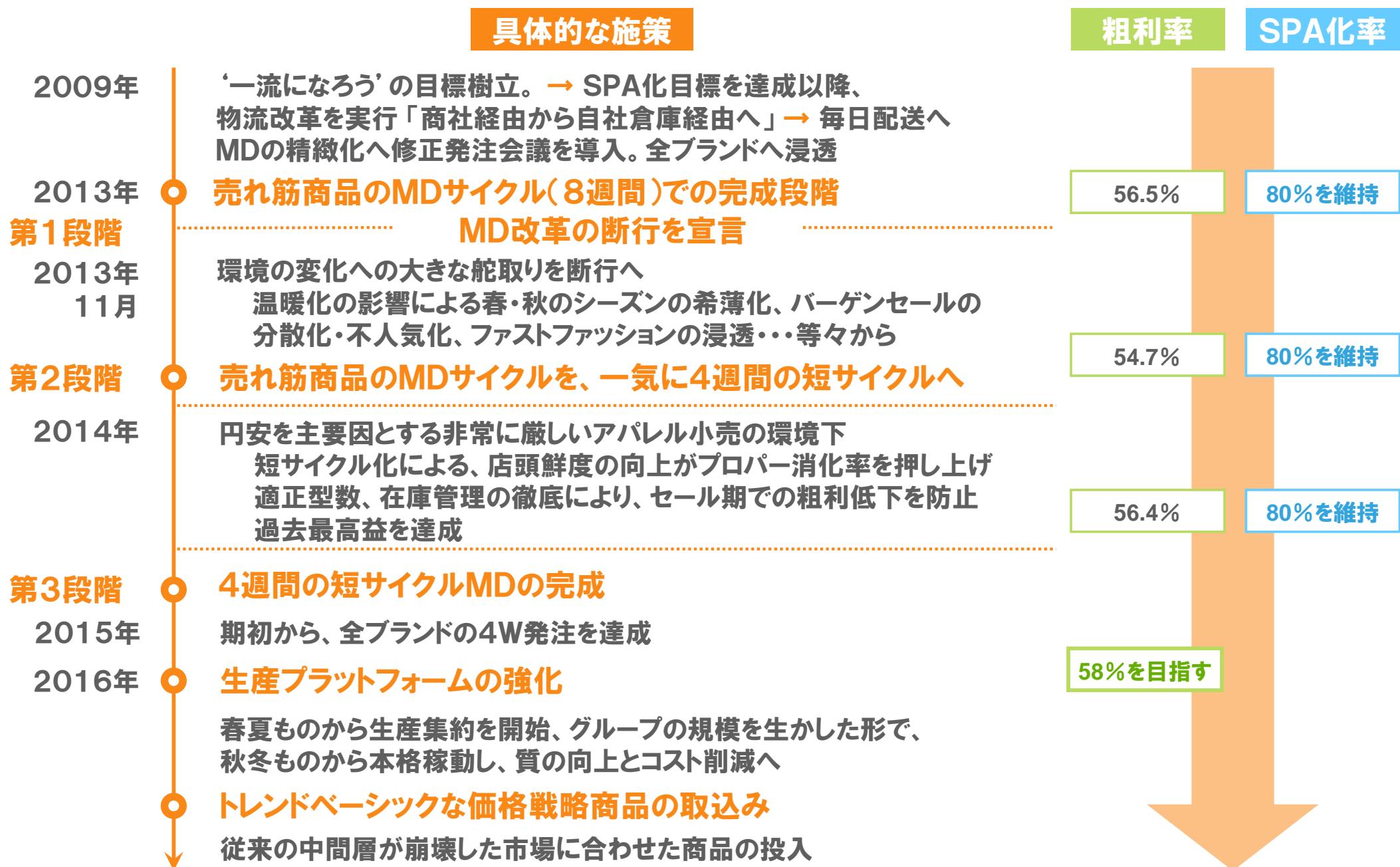
PAL GROUP HOLDINGS

# トピックス

1. MD改革の進捗状況
2. OLIVE des OLIVE事業譲受
3. プラスワンカテゴリー事業創造
4. Kastane×PEACH 協業  
Kastane POP UP SHOPを台北で開催
5. CIAO PANIC リブランディング
6. EC販売強化

# 1. MD改革の進捗状況

PAL GROUP HOLDINGS



## 2. OLIVE des OLIVE事業譲受

PAL GROUP HOLDINGS

# OLIVE des OLIVE

ガーリーな独特的のキャラクターで、1984年にデビュー。「かわいい」「リアルクローズ」を軸に、いつの時代にもTrend+OLIVE des OLIVE テイストを発信し続けています。

“好奇心女子のためのかわいイカジュアルスタイル”新しい自分にわくわくするような そして新しい毎日に彩りを添えられるようなワードローブを中心に、OLIVE des OLIVEの世界を描き続けます。



- 平成29年10月11日付で、瀧定大阪株式会社より「OLIVE des OLIVE」ブランド事業を、新設分割方式で譲受することで合意いたしました。

### 3.プラスワンカテゴリー事業創造

PAL GROUP HOLDINGS

#### ● クラウドファンディングサービス「 Makuake」と業務提携

クラウドファンディング(CF)サービスの「マクアケ」と連携を強化し、CFを活用した、プラスワンカテゴリー事業創造“共同プロジェクト”がスタートしました。この取り組みは“社内”から新ブランドや新事業へのアイデア創出と事業立ち上げを促進するのが狙いです。



<https://www.makuake.com/project/proofcanvas/>



<https://www.makuake.com/project/clouds/>

※2017.10.4(水)現在

#### ● 全4案中の第1弾「水を通さず、汚れを弾くスニーカー」、第2弾「シーンを選ばない、パッカブル コート by THE CLOUDS NYLON」がそれぞれ開始24時間以内で目標金額を達成しました。卸しの問い合わせもあり、可能性を感じています。来年から全社員を対象にしたアイデア募集を検討していきます。

※2017年10月1日より社名を「株式会社サイバーエージェント・クラウドファンディング」から「株式会社マクアケ」に変更したことをお知らせいたします。

## 4. Kastane×PEACH 協業 Kastane POP UP SHOPを台北で開催

PAL GROUP HOLDINGS

- 旅×ファッション！をコンセプトにPEACH社との協業を行っており、PEACHに乗つて台湾へ行きました。  
ブランドとしての初海外進出となる台湾でのPOP UP SHOPを行い、大盛況で幕を閉じました。  
今後も定期的に日本・海外でPOP UP SHOPを開催予定です。



## 5.CIAO PANIC リブランディング

PAL GROUP HOLDINGS

- CPCMは、東京原宿の東京本社ビルの1,2階の店舗を、2017年9月にCIAO PANIC COUNTRY MALLとしてリニューアルオープンいたしました。作り手の温もりが感じられる商品、10年後にはヴィンテージになるであろう商品を取り揃え、“価格以上の価値”を提供します。今後、CIAO PANICにも一部商品を展開し、一体的にリブランドしていく予定です。



# 6. EC販売強化

PAL GROUP HOLDINGS

## 戦略スケジュール

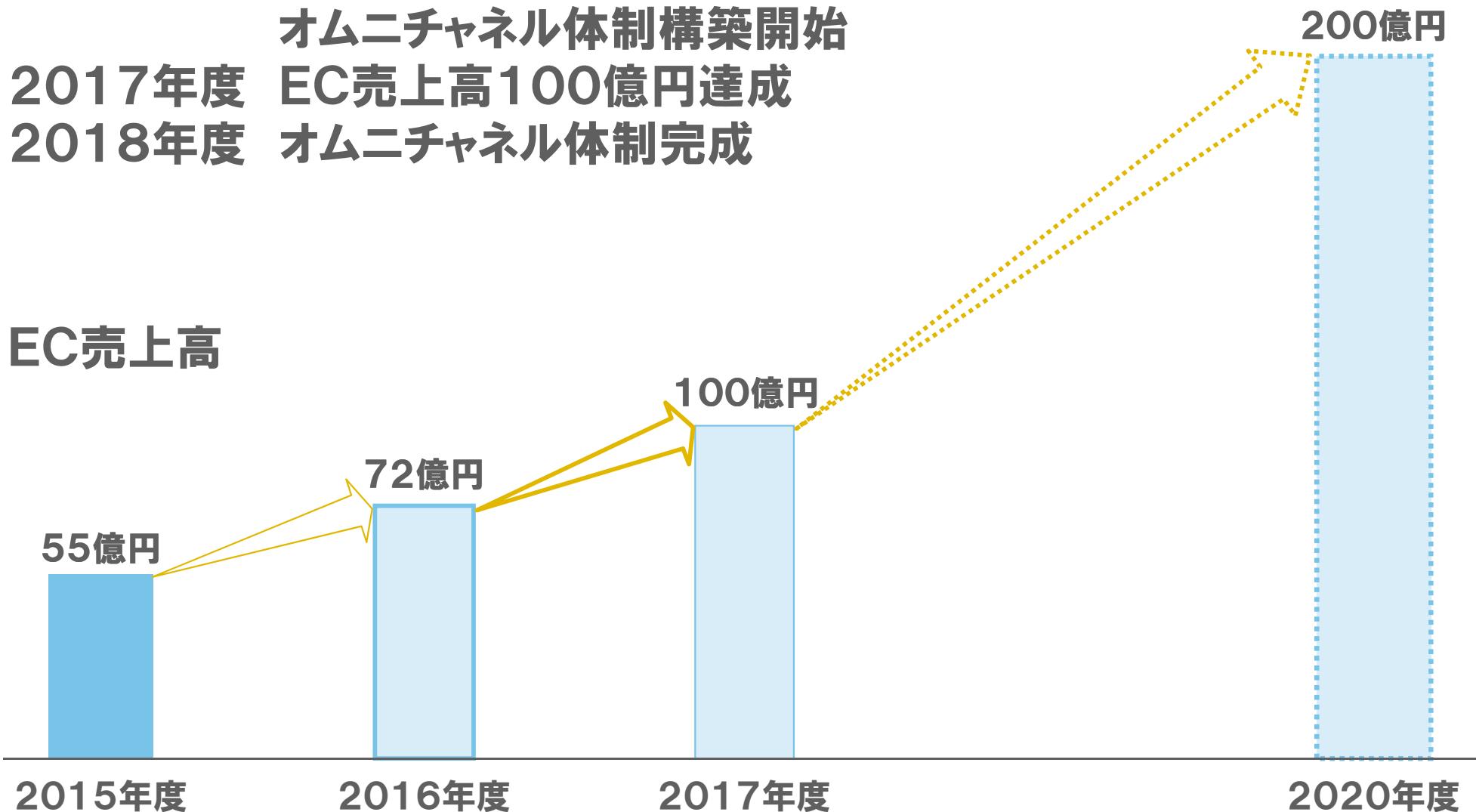
- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化

オムニチャネル体制構築開始

2017年度 EC売上高100億円達成

2018年度 オムニチャネル体制完成

- EC売上高



# 6-①. オムニチャネル対応

PAL GROUP HOLDINGS

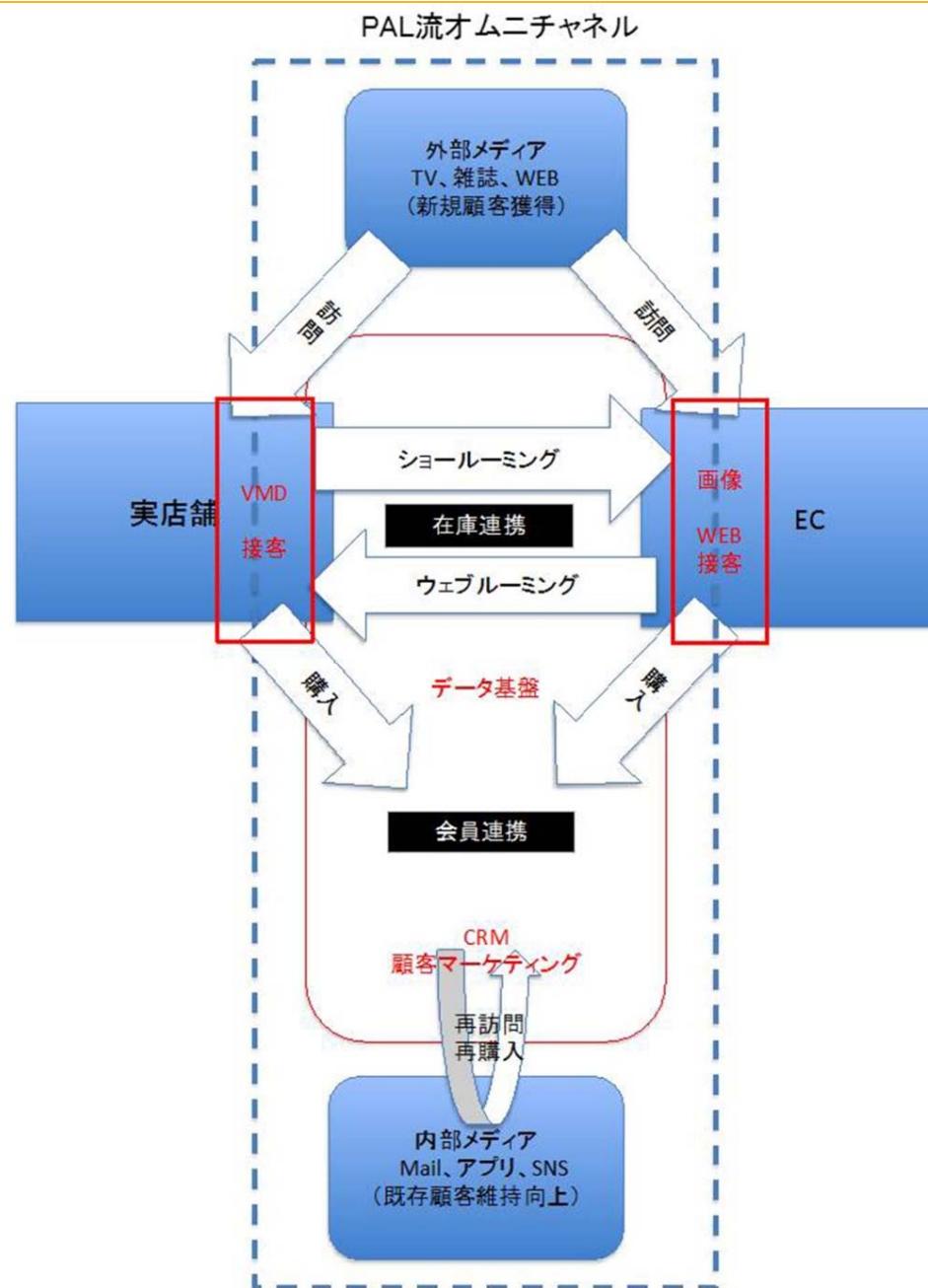
## 戦略指針

### 出店状況

2018年までに、実店舗とECを連携させ、相互に成果を還元する『PAL流オムニチャネル』体制を完成させる。

### 各ブランドの出店状況

ブランド、店舗(実店舗・EC)、顧客マーケティングを磨き、2020年EC売上高200億円突破を成果目標とする。



SMILE  
IS  
POWER.



PAL GROUP HOLDINGS

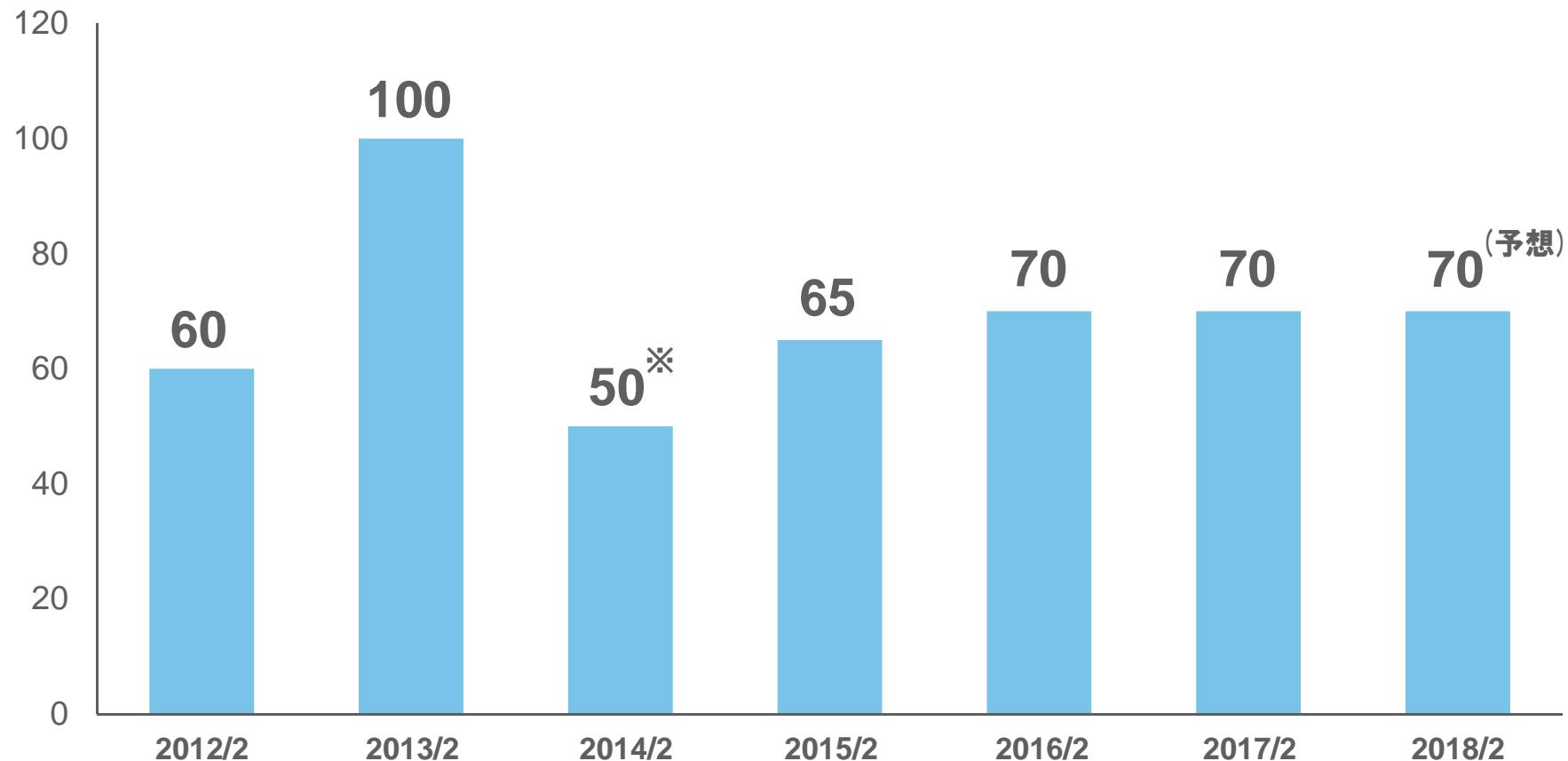
# 株主様への対応

- 
- 1. 株主還元(配当について)
  - 2. 株主優待制度について
  - 3. 当社のCSRへの取組みについて

# 1. 株主還元(配当について)

PAL GROUP HOLDINGS

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、70円を予定(前期比増減無し)



※2013年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済み

## 2. 株主優待制度について

PAL GROUP HOLDINGS

### 『パルグループ全体の販売を促進する内容』で、導入を決定

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を導入いたしました。

#### 優待制度の内容

##### ● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単元）以上を保有されている株主様を対象といたします。

##### ● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の3つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ①全国の当社グループ店舗でのご購入代金の15%を割引
- ②当社ECサイト「PAL CLOSET ONLINE STORE」でのご購入代金の15%を割引
- ③当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「浜木綿くろしお山荘」及び「フリーゲート白浜」での宿泊コース料金の50%を割引

##### ● 優待券の付与枚数

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



### 3. 当社のCSRへの取組みについて

PAL GROUP HOLDINGS

#### (1)当社の経営理念は、『社員と株主みんなの幸せのための経営』

当社にとってのCSR (Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任)とは、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の存在意義に関わるところを超えて、企業として『少しでも世の為、人の為になっているか』という社会貢献、地域貢献に関わることと考えています。



#### (2) 『障がい者の運営する』 全国初のホテル、旅館を全面支援

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



浜木綿くろしお山荘

▶ [www.hamayu-kuroshio.com](http://www.hamayu-kuroshio.com)

### 3. 当社のCSRへの取組みについて

PAL GROUP HOLDINGS

#### (3) 『公益財団法人パル井上財団』での人材育成

当社は、社会貢献の一環として、創業一族である井上ファミリーと共に、『一般財団法人パル井上財団』を設立し、公益財団として内閣府より認可を受けております。将来、ファッション産業や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物共に優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。40名を超える、全国の総合大学及び、服飾系の大学・専門学校の学生（留学生を含む）に、奨学金を給付していく事業を、開始致しました。

『公益財団法人パル井上財団』  
Webサイト

トップページ



パル井上財団

社 是

「常に新しいファッショングライフの  
提案を通して社会に貢献」

グループ  
経営理念

「社員と株主みんなの  
幸せのための経営」

社 名	株式会社 パルグループホールディングス
所 在 地	【本社所在地】大阪府大阪市中央区北浜3-5-29 日生淀屋橋ビル4F 【東京本社】東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F
代 表 者	井上 隆太
資 本 金	31億8,120万円
設 立	1973年10月
事業内容	婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売
従業員数	グループ合計3,134名
店 舗 数	911店舗

## 経営企画室

TEL 06-6227-0308  
FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。  
また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。